

玉手山学園広報

No.64 秋号
2010年9月25日
総合学園広報誌

建学の精神「感恩」

人間のおよび得ない存在への畏敬の念と、生かされてある不思議を原点に、人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し今日の自分がある。この偉大なばかりに目覚め、深い感動と感謝の念から発する情熱をもって、人の幸せを願う行動するとき、われわれは社会に貢献することができる。

多くの「ありがとう」に出会い気づき、感動・感謝の行動から、また新しい「ありがとう」が生み出されていく。

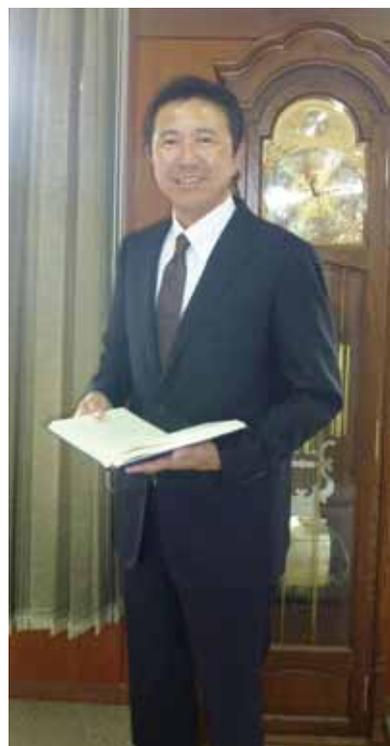
夢をもつ、なりたい自分になる

夢が語り合える学園に

「はやぶさ」帰還に思う

人類の文明は果てしなく偉大

2003年6月、無人小惑星探査機「はやぶさ」がJAXAによって打ち上げられ、大きく予定を延長し満身創痍になりながら、アポロ群の小惑星イトカワ（月より遠い小惑星表面のサンプルを地球に持ち帰るとい



理事長 江端 源 治

う挑戦は世界初)に到達し、60億kmの遙かなる一人旅を終え、7年ぶりに「よくぞ」地球に還ってきました。大気圏突入時、自らは燃え尽きたが大事なメッセージのつまったカプセルは見事、オーストラリアの大地に降下、回収されました。わが身を犠牲にしても子を守る母親のごとく、その様子が胸が熱くなりました。ヒトが誕生し、「かぐや姫の月」を経て今日まで、不可能を可能に、神秘を理論、夢を現実にしてきた人類の文明は果てしなく偉大です。その文明を支えているのが「教育」です。良質の教育によって高い教養と豊かな心が育まれ、新たな創造が加わり次世代へ受け継がれ幸せな社会が拓かれていきます。

学ぶ(学べる)とき、学ぶ責任、そして学ぶ喜び

授業中に眠る、もったいなさ

人格を磨こう

(平気な、鈍感にならないで！)

学生・生徒・園児のみならず、君たち若者は未来社会の宝物です。皆さんは素晴らしい感性、そして力(可能性)を持っています。皆さんは、いままさに学ぶ(学べる)好機(とき)にあります。多くを学び吸収し、新たな創造・価値を生み出し次の世代へ伝えて下さい。みなさんは今、日常生活の大半を学校の教室で「授業」を受けて過ごしています。「授業」はいままでもなく学びの大きな源であり、皆さんが持てる力、本来の力を発揮するため、あるいは「なり

たい自分になる」ために、豊かな教養を身につける場です。その大切な授業中に、自らの意思で眠ってしまうことは本当にもったいないことです。自分の可能性を自ら摘んでしまっているのですから。また一生懸命、君たちに伝えようとしている先生の前で、平気で(時には伏してまで)眠ってしまうような、そんな鈍感な自分に決してなつてほしくありません。一層、人格を磨きましよう。学ぶ(学べる)とき、学ぶ責任、そして何より学ぶ喜びを全身で感じて「授業」を大切に、夢の実現に向けて自分を磨き、可能性を大きく育てて下さい。

なりたい自分になる

いくつになっても夢をもちたい
何かにひた向きに取り組む

素晴らしさ

落球してもなお:

今年6月のサッカーワールドカップは、日本中を感動させてくれました。選手たちは自分を信じ、夢を現実にするという強い意志でサッカーに取り組んでいます。「なりたい自分になる」、夢を持ってその実現に向けてひた向きに取り組むことはとても素晴らしいことです。たとえ夢がかなわなくても、成長し前進している自分が好きになれるはずです。学生・生徒・園児のみなさんはもちろん、われわれ教職員、大人もいくつになっても夢を持ち、眼を輝かせ続け夢を語り合いたいものです。今夏の高校野球で、9回の守備でまさかの落球をし、負けてしまった選手がいました。彼は甲子園での優勝を夢見て、その実現に向けチームメイトと懸命に練習に励んだはず、誰もそんな彼を責めたりはしない。しかし決して忘れることのできないその辛い経験、いつか必ずプラスのエネルギーに変えてほしい。偶然にも直後、その高校を私は訪問しました。先生が彼について話してくれました。「彼は春

の甲子園大会ではタイムリリーヒットを放つなどヒーローでした。彼は天国と地獄を見ました。彼の夢は教師になることです。きつといい先生になってくれるでしょう!」と。

保健医療学部、医療秘書学科等の開設(H23.4)近づくと

学園はおかげさまで、まもなく創立70周年(2012年)を迎えます。学園の一層の発展向上を期して、学園では第1期(2008~2012)学園中長期計画(70周年記念事業)を推進中です。今春には大学に特別支援教育専攻科が開設され上六のサテライト教室で活気ある夜間授業が行われています。また大学3番目の学部となる保健医療学部、短大4番目の学科となる医療秘書学科、そして医療秘書学専攻科が来春開設に向けて着実に準備が進んでいます。建学の精神「感恩」を体し、人の幸せを願う豊かな心で社会に役立つ人材を育成するという学園使命を果たし、ますます社会に必要とされ愛される学園を目指してまいります。

学園トピックス

関西福祉科学大学、関西女子短期大学 名誉教授称号記の授与

大学事務局総務部

平成22年3月26日、江端源治理事長より篠置昭男関西福祉科学大学名誉学長と志水彰関西女子短期大学学長に、関西福祉科学大学名誉教授称号記(平成22年4月1日付)および関西女子短期大学名誉教授称号記(平成

22年4月1日付)が授与されました。

篠置先生は、平成6年度から関西女子短期大学副学長をはじめ、短期大学学長、関西福祉科学大学学長の要職を勤められました。志水先生は、平成9年度

から関西福祉科学大学社会福祉学部学長をはじめ、大学副学長、大学学長、短期大学学長の要職を勤められました。

また、平成22年3月29日、江端源治理事長より小林芳郎社会福祉学部学長に、関西福祉科学大学名誉教授称号記(平成22年4月1日付)が授与されました。小林先生は、平成15年度より関西福祉科学大学社会福祉学部長を勤められました。

平成22年3月31日に退職されました篠置名誉教授、志水名誉教授、小林名誉教授の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



篠置先生



志水先生



小林先生

大学新校舎建設計画について

法人本部施設部 田堀 富造

学園では創立70周年記念事業の一環として新校舎の建設を計画しています。

建設場所は大学本館西側で、建物の概要は鉄骨鉄筋コンクリート造8階建、延べ床面積は7,748㎡です。また工期は平成22年4月～平成23年3月を予定しています。去る5月12日

には建設予定地において関係者が参列し、起工式を執り行いました。

工事期間中は工用車両の通行、騒音等でご迷惑をお掛けしますが、安全第一で作業しますので、教職員の皆様にはご協力のほどよろしくお願い致します。



完成予想図

第51回日本社会医学学会総会の開催について

健康福祉学部長 三戸 秀樹

平成22年7月3日(土)～4日(日)の2日間にわたり、「貧困と社会医学・時代の変換点にたつて」をテーマとして第51回日本社会医学学会総会が学園2号館で開催されました。

日本社会医学学会は人々の健康

に聞き取り調査をされました。こうした調査をもとにさらに古文書の資料の内容を検討しながら、原稿にまとめていかれました。

皆さん、「史蹟 立教館」は、もうお読みになされましたか。副題にありますように、「郷土国分の歴史と玉手山学園」との関わりやエピソードを交えて立教館と創設者柘植葛城を紹介しています。

冊子「史蹟 立教館」誕生秘話

法人本部施設部 田堀 富造

さて、学園創立70周年を機に「立教館」再調査の構想が持ち上がったのが、平成20年の5月頃でした。高校藤蔭会の推薦もあり、調査には本校の元高校教員の小林和彦先生にお願い致しました。

調査が開始されますと、小林先生は、冊子でも紹介していただきますように、大阪府立中ノ島図書館や大阪大谷大学博物館等での文献の調査や、地元国分周辺の歴史資料館や葛城の菩提寺である阿弥陀寺や案福寺のご住職、国分小学校長、高校教員OB等

調査途中で、柘植家の御子孫の所在を知り、学園にお招きしたのが平成20年10月でした。(余録その1参照)。図版を挿入した初稿が出来たのが、平成21年の2月中旬でした。

小林先生の手書き原稿をまづ、施設部職員3人でワープロ原稿化し、校正作業に入りました。ワープロ文書を数回校正している最中にも、先達の研究者で地元国分の史家榎谷政則氏の調査報告(余録その2参照)や近世河内の歴史学の権威である大阪府立大学の山中先生の本学

での「河内学」講座(余録その3参照)を通じて新たな史実が加筆され、完成品に一步一步近づいていきました。

こうして、漸く印刷会社の校正原稿が最終段階に入ったのが平成22年の2月でした。

ここで、先の立教館の権威であるお二人に御指導を仰ぎ、追記・修正を経て、今年の6月に発行の運びとなりました。構想から発行まで約2年の歳月を要しました。

この冊子を発行するに当たっては、本当にたくさんの方に御協力を頂いています。

助言、資料の提供等を頂いた方々には、紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。

最後になりましたが、大学からは施設の利用を始め多大なご協力を頂きましたので記して感謝致します。



たっぷりVeggie食べる料理コンテスト 第2回レシピ集は間もなく出来上がります

健康福祉学部福祉栄養学科

「しんどい」「だるい」「疲れがとれない」「便秘気味」と感じておられるみなさん、野菜の効用に注目です。

野菜は、食物繊維、ビタミンやミネラルなどが含まれ、これらの栄養素はからだの代謝、免疫や抗酸化作用を活性化して生体システムを円滑にする働きがあり「野菜はからだの調子を整える食品」と言われています。

福祉栄養学科では学園内の皆様においしく野菜を食べていただくために昨年「たっぷりVeggie食べる料理コンテスト」



応募作品

を行い、342人の人気投票結果に基づき、レシピ集を作成しています。投票にご協力いただきありがとうございます。レシピ集の内容は人気の高かったレシピの掲載に加えて、「野菜」に関する情報がたっぷりです。福祉栄養学科の学生が日ごろの勉強成果と野菜と親しくなっていたためにと考えに考えた内容を詰めこんでいます。教育後援会の助成をいただき、フルカラー印刷で皆様にお届けします。一部をご覧下さい。

「私たちはこんな教え方をしています」武田教授講演会、 ならびに各学科卒業生による「卒業体験談」

大学教育後援会事務局

平成22年5月29日に開催されました平成22年度大学教育後援会総会のプログラムの一つとして、本学大学院社会福祉学研究科長、武田教授の講演会と各学科卒業生の卒業体験談の披露がありました。

皆さんご存知の通り、武田教授は関西学院大学長・理事長等の要職を歴任され、同大学の体育会アメリカンフットボール部のヘッドコーチ、監督として甲子園ボウル5連覇等、輝かしい成績を取られております。講演会では、武田教授のユーモアたっぷりなジョークを随所に盛り込み、①スモールカレッジが高等教育を支えている事②怒鳴るのではなく、どうやって欲しいかを具体的に伝え叱る事③最終目標は高く、結果はすぐにフィードバックし、一寸でも良くなったらすぐに、毎回一貫性をもって誉める事④「何故、こうすればいいののか」を説明する事⑤相手の気持ちをくみ対応する。人間関係では与えたいものが自分に帰ってくる事等、やる気を起こさせる指導のあり方についてお話をいただきました。

続いて、各学科の卒業生4名

による「卒業体験談」の紹介がありました。

4名とも、本学で取得した資格を活かし、各分野で活躍しており、内容として、

◎在学時に頑張った事 ◎就職活動について ◎現在の仕事内容等についての報告でした。

出席された保護者の方も非常に興味深く聞いておられ、武田教授の講演から大学における講義の雰囲気を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。また、卒業生の体験談においては、在学生の将来像を描く一助になったものと思います。

藤蔭会総会

去る5月23日に藤蔭会総会が行われました。当日は残念ながら、一日中雨模様ではありませんが、98名のなつかしい再会が

高等学校 岩本 真二

ありました。学園からは江端理事長のご出席をいただき、高等学校からは名誉会長の森本校長をはじめ教頭ほか22名の教職員

の出席がありました。また、懐かしい旧職員の先生方も天候の悪い中にもかかわらず5名のご出席をいただき、総会後の懇親会では我々も懐かしく、楽しい一日を過ごすことができました。

総会では会長の角崎さんの開会のご発声から始まり、理事長並びに名誉会長のご挨拶があり、会計報告がされ、引続き新

会員(平成20・21年度卒業生)の紹介がありました。席上、新役員発表もあり新会長として島田幸子さん(昭和37年卒)が選任されました。新役員の方々のさらなるご活躍をお祈りいたします。校長の挨拶の中で、「高等学校同窓生子息奨学金制度」のお話が詳しくありました。内容は従来からありましたが、「入学生

徒の祖父・母・兄・姉が本校の卒業生、あるいは在校生である場合の入学金の2分の1を奨学金として支給する」という制度に加えまして「授業料負担額(3年間)の2分の1も奨学金として支給する」(平成22年度入学生より実施)という制度です。今後、高校受験を控えられております同窓生の皆さまは特に真剣

に聞き入っていました。最後に、今年度より現職の教職員として正式に藤蔭会組織に関わらせていただくことになり、個人的にも大変喜んでおります。平成24年度の学園創立70周年に向け微力ながら学園のお手伝いができればと考えております。ご協力よろしくお願ひします。

学生赤十字奉仕団に

大阪府知事より感謝状授与

保育科教授 高木 信良

この度、平成22年7月26日(月)午後2時よりKKRホテル大阪に於いて献血推進協力団体等に対する大阪府知事感謝状贈呈式が行われ、代表として玉手山学生赤十字奉仕団委員長の中

筋郁美(関西福祉科学大学3年)さんが出席し、感謝状を授与されました。

当奉仕団は、平成6年9月に関西女子短期大学学生赤十字奉仕団として発足し、平成18年度より関西福祉科学大学の学生も加わって活動を展開するようになりしました。平成19年には関西女子短期大学学生赤十字奉仕団と関西福祉科学大学学生赤十字



表彰式



奉仕団とを合体させ、日本赤十字社への届出を玉手山学生赤十字奉仕団として名称を変更して活動を継続しています。これまでも赤十字事業の進展に継続して貢献したことに対して日本赤十字社大阪府支部長(太田房江氏)より感謝状を平成13年1月と平成17年12月の2度にわたり授与されています。現在、献血推進活動や福祉関連の活動も精力的に行っています。

「読の価値あり！」

「学生が勧める本」

大学図書館 田原 里香子

◎「待ってくれ、洋子」

長門裕之著 主婦と生活社

大学所蔵

ラブレターかと思いましたが、認知症介護について綴ったルポルターージュですが、溢れんばかりの妻への愛の告白が詰まっています。それ以上に、介護についての疑問を気付けられました。「介護者が誰であるべきか」ではなく、介護を受ける側が「誰に介護してもらいたいのか」ではないかということに。自分の福祉感を見直せる1冊になりました。

(社会福祉学科3年生)

審査結果は10月に発表され、大学図書館で表彰式が行われます。また、秋学期の応募要領・期間は次の通りです。多くの学生の参加をお待ちしています。応募要領・資格は大学生、短大生。1000字程度の紹介文。詳細は「応募のしおり」を参照。応募期間・Ⅱ期 平成22年11月22日～12月10日

◎「ありがとうが届く本」
山本重也著 学習研究社 大学所蔵
「ありがとう」ってたった5文字の言葉だけと言われるとすごく嬉しいです。けれど、普段なかなか言葉にすることができません。本の中で私の好きな「ありがとう」を紹介します。
『親友へ 言ってくれてありがとう、私のダメなところ。あれから強くなれました』
「ありがとう」は勇気をもって直接言うことに意味があるんだと気付かされます。
(社会福祉学科1年生)

最高の園内キャンプ

楽しかった！

幼稚園 大西 英子

子どもたちの待ちに待った夏祭り、園内キャンプ当日までは、中々空けない梅雨空を見上げてはため息ばかり。教職員は、子どもたちを喜ばせたい思いで、松屋町へ花火、ヨーヨー、夜店の品々の買出しに始まり、運転手さんは、キャンプファイヤーの木を去年から準備、乾かしておいてくれました。

当日、十七日に梅雨明け宣言。最高の天気のもと夏祭りの始まり。金魚すくい、ヨーヨーつり、ビックリハウス、迷路など子どもたちも目を輝かせ、歓声をあげながら、遊びに興じていました。郡山市からの本場の金魚は元気過ぎて、子どもたちの手には負えないようでしたが。しかし好きな色のヨーヨー

を吊り上げ、ご満悦な様子でした。

学園記念講堂では、A K B 48 ばりの先生たちのパフォーマンスに拍手喝さい。子どもたちも普段と違う先生たちの姿に大喜びでした。

夕食は学園食堂で青、赤組総勢300名近くで、揚げたてのえびフライカレーに何度もお代わりをし、お腹も心も満腹。

夕方には、キャンプファイアーを囲みドラエモン音頭を踊ったり、打ち上げ花火を楽しみました。その後、年中組(赤組)は名残り惜しそうに降園。

年長組(青組)は、就寝前に寮のお風呂にクラス全員で入り大喜び、「ああ、気持ちよかったです！」「今日はすごく楽しかったね！みなさんおやすみなさい。」と無事一日は終了しました。

翌朝は、小鳥と蝉の鳴き声に子どもたち全員元気に目を覚まし、真っ青な夏の空の下、朝礼と体操。子どもたちの凛々しい姿に一晩でも親元を離れ過ごしたことで、確かな成長をしっかりと感じたものでした。

園内キャンプ開催にあたり、学園関係者の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

上手につれました



待ちに待ったキャンプファイア

2010 K's コンサート

開催のご案内

玉手山学園吹奏楽団事務局

2010 K's コンサートを来る12月23日(木)に、柏原市民会館リビエールホールにて開催致します。教職員の皆様には御家族、友人、知人お誘いあわせのうえ、多数御来場くださいますよう、お願い致します。

2010 K's コンサート

Hearful



関西福祉科学大学・関西女子短期大学
関西医療技術専門学校
関西福祉科学大学高等学校
玉手山学園吹奏楽団

2010
12.23 (木)
16:30 開演 16:00 開場
柏原市民文化会館
リビエールホール
入場無料



柏原市民文化会館リビエールホール
吹奏楽団事務局 〒520-0801
Phone: 072-972-6661

お問い合わせ 玉手山学園吹奏楽団事務局 Phone: 072-978-6661



平成21年度決算報告

資金収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位 千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 科目 | 決算 | 科目 | 決算 |
| 学生生徒等納付金収入 | 4,115,178 | 人件費支出 | 3,092,093 |
| 手数料収入 | 73,550 | 教育研究経費支出 | 841,656 |
| 寄付金収入 | 6,675 | 管理経費支出 | 385,599 |
| 補助金収入 | 694,280 | 施設関係支出 | 396,063 |
| 資産運用収入 | 71,186 | 設備関係支出 | 114,727 |
| 事業収入 | 63,950 | 資産運用支出 | 120,000 |
| 雑収入 | 80,766 | その他の支出 | 263,819 |
| 前受金収入 | 747,303 | 資金支出調整勘定 | △270,073 |
| その他の収入 | 85,196 | 次年度繰越支払資金 | 6,974,375 |
| 資金収入調整勘定 | △872,165 | | |
| 前年度繰越支払資金 | 6,852,340 | | |
| 収入の部合計 | 11,918,259 | 支出の部合計 | 11,918,259 |

【資金収支計算書】

納付金収入は、学生・生徒数が前年度と比べ減少したため、予算比50百万円、前年度比327百万円減少の4,115百万円となりました。手数料収入は、志願者数減少により入学検定料収入が予算比10百万円、前年度比5百万円減少の74百万円となりました。補助金収入は、国・大阪府からの補助金の増加により予算比162百万円、前年度比70百万円増加の694百万円となりました。資産運用収入は、デフレバイラルに陥った国内経済の長期低迷による預金利率の低下及び納付金収入等の減少により予算比3百万円減少、前年度比2百万円減少の71百万円となりました。事業収入は、補助活動事業収入の増加により予算比9百万円の増加となりましたが、受託事業収入の減少で前年度比8百万円減少の64百万円となりました。雑収入は、退職金財団からの交付金収入により予算比51百万円、前年度比7百万円増加の81百万円となりました。前受金収入は、学生・生徒・園児の入学者数の減少により予算比89百万円、前年度比40百万円減少の747百万円となりました。収入全体では予算比31百万円増加、前年度比178百万円減少の5,066百万円となりました。学園全体の教職員数は教育力向上のため専任教職員については退職者に対する補充とし、前年度比増減なし、兼務教員は1名増加。勤続年数の長い役員・教職員の予算計上外の退職により退職金支出が、予算比97百万円増加したため、人件費全体として予算比41百万円の増加となりましたが、前年度比では38百万円減少の3,092百万円となりました。経費については、各部門における節減効果が大きく予算比68百万円の減少となりました。前年比についても、教育研究経費支出、管理経費支出共に節減効果により127百万円の支出減となり、教育研究経費、管理経費合計で1,228百万円となりました。施設、設備関係支出では、駐車場用地購入、大学3号館建設、校舎内外の改修、備品の更新等、教育環境充実のための投資を積極的に実施しましたが、大学新校舎建設の契約が22年度になったこともあり、予算比365百万円の減少、前年度比144百万円増加の510百万円となりました。上記の結果、法人全体として期中の支払資金は前年度より122百万円増加の6,974百万円となりました。

消費収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位 千円)

| 消費収入の部 | | 消費支出の部 | |
|----------|-----------|--------------|-----------|
| 科目 | 決算 | 科目 | 決算 |
| 学生生徒等納付金 | 4,115,178 | 人件費 | 3,082,647 |
| 手数料 | 73,550 | 教育研究経費 | 1,249,424 |
| 寄付金 | 10,345 | 管理経費 | 452,498 |
| 補助金 | 694,280 | 資産処分差額 | 20,261 |
| 資産運用収入 | 71,186 | 徴収不能額 | 1,330 |
| 事業収入 | 63,950 | | |
| 雑収入 | 81,924 | | |
| 帰属収入合計 | 5,110,413 | | |
| 基本金組入額 | △356,677 | | |
| 消費収入の部合計 | 4,753,736 | 消費支出の部合計 | 4,806,160 |
| | | 当年度消費支出超過額 | 52,424 |
| | | 前年度繰越消費収入超過額 | 2,109,693 |
| | | 基本金取崩額 | 6,084 |
| | | 翌年度繰越消費収入超過額 | 2,063,353 |

【消費収支計算書】

資金収支計算書・収入の部と同様、納付金・手数料・資産運用の減少、補助金・事業収入の増加等の要因により帰属収入の合計は予算比174百万円増加、前年度比277百万円減少の5,110百万円となりました。大学3号館新築等による基本金への組入が356百万円あり、消費収入合計は予算比693百万円の増収、前年度比505百万円減収の4,754百万円となりました。資金収支計算書・支出の部と同様、人件費については予算比10百万円の増加、前年度比26百万円減少の3,083百万円となりました。経費については削減効果により予算比68百万円の減少、前年度比129百万円減少の1,228百万円となり、消費支出合計では予算比35百万円減少、前年度比132百万円減少の4,806百万円となりました。当年度消費収支差額は予算では780百万円の支出超過でしたが、経費の節減と大学新校舎建築契約が翌年度になったことにより大幅に収支見込みが変わり、実績は52百万円の支出超過となり大幅に収支が改善され、翌年度繰越消費収入超過額は2,063百万円となりました。なお、帰属収支差額は304百万円の収入超過となり引き続き健全財政を維持しました。

貸借対照表

平成22年3月31日

(単位 千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|----------|------------|------------------------|------------|
| 科目 | 本年度末 | 科目 | 本年度末 |
| 固定資産 | 16,686,840 | 固定負債 | 670,968 |
| 有形固定資産 | 12,163,616 | 退職給与引当金 | 657,063 |
| その他の固定資産 | 4,523,223 | 長期未払金 | 13,905 |
| 流動資産 | 7,102,500 | 流動負債 | 1,260,031 |
| 現金預金 | 6,974,375 | 前受金 | 747,303 |
| その他 | 128,125 | その他 | 512,728 |
| | | 負債の部合計 | 1,930,998 |
| | | 基本金の部 | |
| | | 科目 | 本年度末 |
| | | 第1号基本金 | 19,490,989 |
| | | 第4号基本金 | 304,000 |
| | | 基本金の部合計 | 19,794,989 |
| | | 消費収支差額の部 | |
| | | 科目 | 本年度末 |
| | | 翌年度繰越消費収入超過額 | 2,063,353 |
| | | 消費収支差額の部合計 | 2,063,353 |
| | | 科目 | 本年度末 |
| | | 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 23,789,340 |
| 資産の部合計 | 23,789,340 | | |

【貸借対照表】

固定資産のうち土地は駐車場用地の購入、建物は大学3号館新築工事等がありました。また、大学新校舎建設の設計着手等を建設仮勘定として計上。その他の固定資産として減価償却引当特定預金が増加し、固定資産合計では132百万円の増加となりました。流動資産の増加は、現金預金の増加によるものです。以上の要因により、資産総額は前期末比262百万円増加の23,789百万円となりました。退職給与引当金及び前受金の減少により、負債総額は前期末比42百万円の減少。大学3号館新築、駐車場用地購入等による1号基本金組入に対し、備品の過年度簿外処理分の減額もあり、全体では351百万円の純増となります。消費収支計算書の部で述べたように、翌年度繰越消費収入超過額は、前期末比47百万円減少し、2,063百万円。なお純資産は前期末比304百万円増加の21,858百万円となりました。

※21年度計算書類の詳細については、玉手山学園ホームページ<http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp>に掲載しております。

平成22年度予算概要

資金収支予算書 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで (単位 千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金収入 | 3,881,891 | 人件費支出 | 3,038,555 |
| 手数料収入 | 71,766 | 教育研究経費支出 | 935,849 |
| 補助金収入 | 554,570 | 管理経費支出 | 448,643 |
| 資産運用収入 | 66,757 | 施設関係支出 | 1,674,139 |
| 事業収入 | 61,978 | 設備関係支出 | 323,777 |
| 雑収入 | 30,529 | 資産運用支出 | 268,000 |
| 前受金収入 | 915,825 | その他の支出 | 269,874 |
| その他の収入 | 85,489 | 資金支出調整勘定 | △82,546 |
| 資金収入調整勘定 | △770,621 | 次年度繰越支払資金 | 4,986,268 |
| 前年度繰越支払資金 | 6,974,375 | | |
| 収入の部合計 | 11,872,559 | 支出の部合計 | 11,872,559 |

【資金収支計算書】

平成22年度は、学生募集環境の厳しさを反映し、学生・生徒・園児数の減少が見込まれるため、納付金収入・手数料収入・補助金収入とも前年を下回り、収入合計では前年度比271百万円の減少となる見込みである。支出面では、大学新校舎建設等の支出と268百万円の特定預金への支出があり、支出合計では前年度比1,341百万円の増加となる見込である。繰越支払資金は1,988百万円の減少となる。

消費収支予算書 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで (単位 千円)

| 消費収入の部 | | 消費支出の部 | |
|----------|------------|--------------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金 | 3,881,891 | 人件費 | 3,071,771 |
| 手数料 | 71,766 | 教育研究経費 | 1,347,349 |
| 補助金 | 554,570 | 管理経費 | 515,443 |
| 資産運用収入 | 66,757 | [予備費] | 10,000 |
| 事業収入 | 61,978 | | |
| 雑収入 | 30,529 | | |
| 帰属収入合計 | 4,667,491 | | |
| 基本金組入額 | △1,997,916 | | |
| 消費収入の部合計 | 2,669,575 | 消費支出の部合計 | 4,944,563 |
| | | 当年度消費支出超過額 | 2,274,988 |
| | | 前年度繰越消費収入超過額 | 2,063,353 |
| | | 翌年度繰越消費支出超過額 | 211,635 |

【消費収支計算書】

消費収支面においても資金収支計算書で説明したとおり収入の減少が大きく、大学新校舎建設等による基本金組入額が1,998百万円あるため、支出面で経費縮減予算を組んでいるが2,275百万円の支出超過となる。しかしながら基本金組入額を除く帰属収支差額では、277百万円の支出超過となる見込である。

※22年度予算書の詳細については、玉手山学園ホームページ<http://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/>に掲出しております。



人事異動

(平成22年5月～9月)

○大学事務局

(異動)

学生支援センター

担当課長 横山 学

総務部 伊藤 真人

編集後記

今年の6月に日本中をおかせた明るいニュースがありました。それは無人惑星探査機「はやぶさ」の帰還でした。テレビや新聞で様々な特集が報道されましたので、ご覧になった方も多いと思います。日本のすばらしい技術力と、多くの難問に直面したにもかかわらず、それを解決したスタッフのすばらしさを世界に発信した出来事でした。目標達成のために可能な限り努力をする、こうした姿勢は我々も是非みらいたいと思います。

■玉手山学園広報

発行人 本 部

No.64平成22年9月25日発行

昭和63年4月12日No.1発行

学校法人 玉手山学園

関西福祉科学大学

関西女子短期大学

関西福祉科学大学高等学校

関西女子短期大学付属幼稚園

関西医療技術専門学校

〒582-0026大阪府柏原市旭ヶ丘三丁目十番号

電話(〇七二)九七八一六六六番

FAX(〇七二)九七七八五八七番

<http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp>